東京都医師会 定例記者会見

資料１

2025年3月11日（火）

【緊急声明】高額療養費制度の凍結について

『高額療養費制度』に関する十分な議論がなされていないなかで、

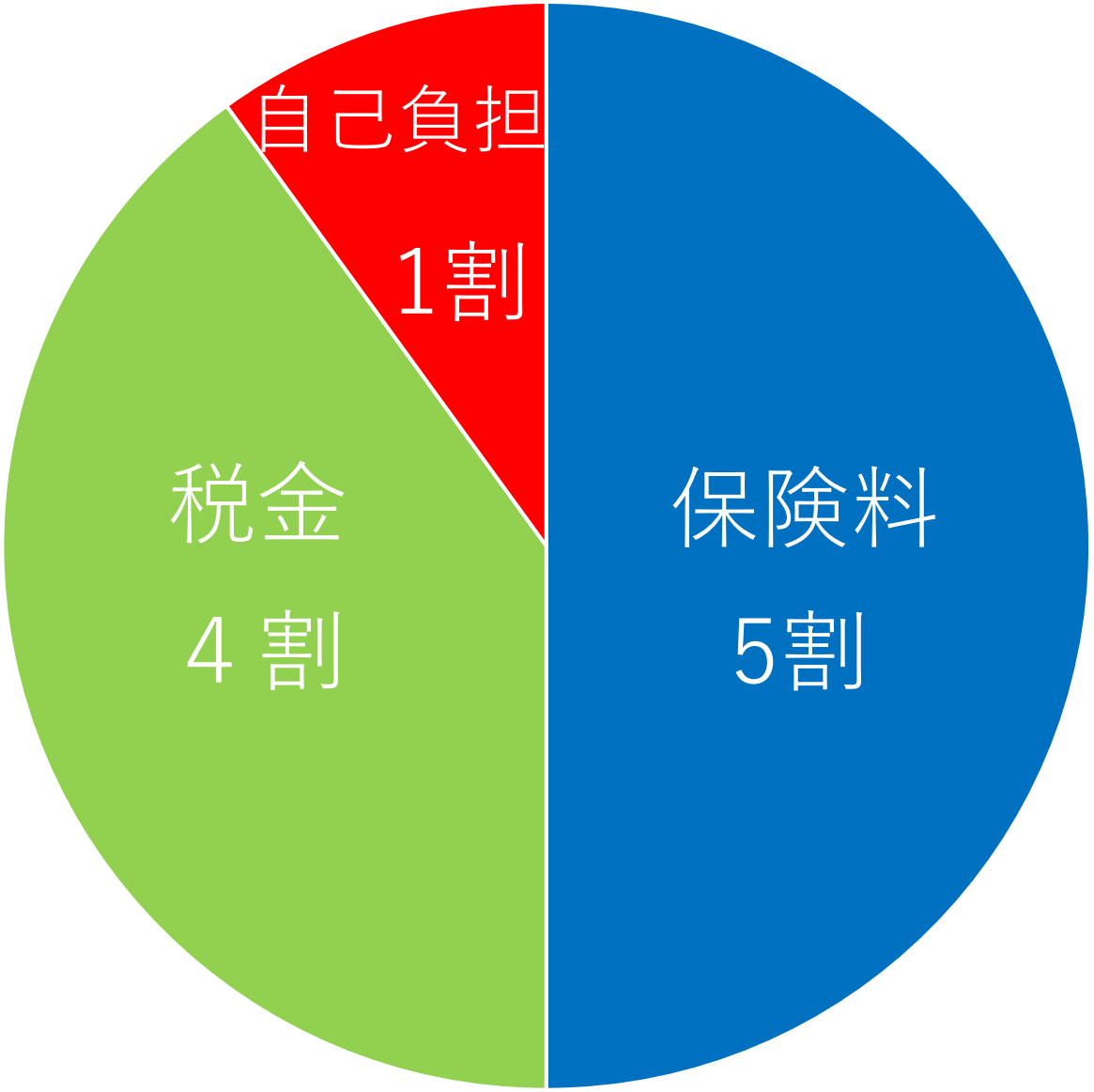
拙速な決議はせず、慎重な決断を！

「高額療養費限度額」引き上げ実施の凍結について

2025年3月7日
本年８月の引き上げなどに対し、実施見合わせの表明。
しかし、今秋までに見直しとした点は拙速ではないか。

・現役世代の社会保険料負担が限界にきているが、
高額医療費削減策から手をつけることは、
国民皆保険制度の根幹であるセーフティーネットの崩壊に繋がりかねない。

「医療費の内訳」



税収の推移（左）と社会保障支出・国民負担率の国際比較（右）

（注）2021年度以前は決算額、2022年度は予算額である。

<消費税の特徴>

☑ 景気の変化に左右されにくく、税収が安定しています。
働く世代など**特定の人に負担が集中することがありません。**

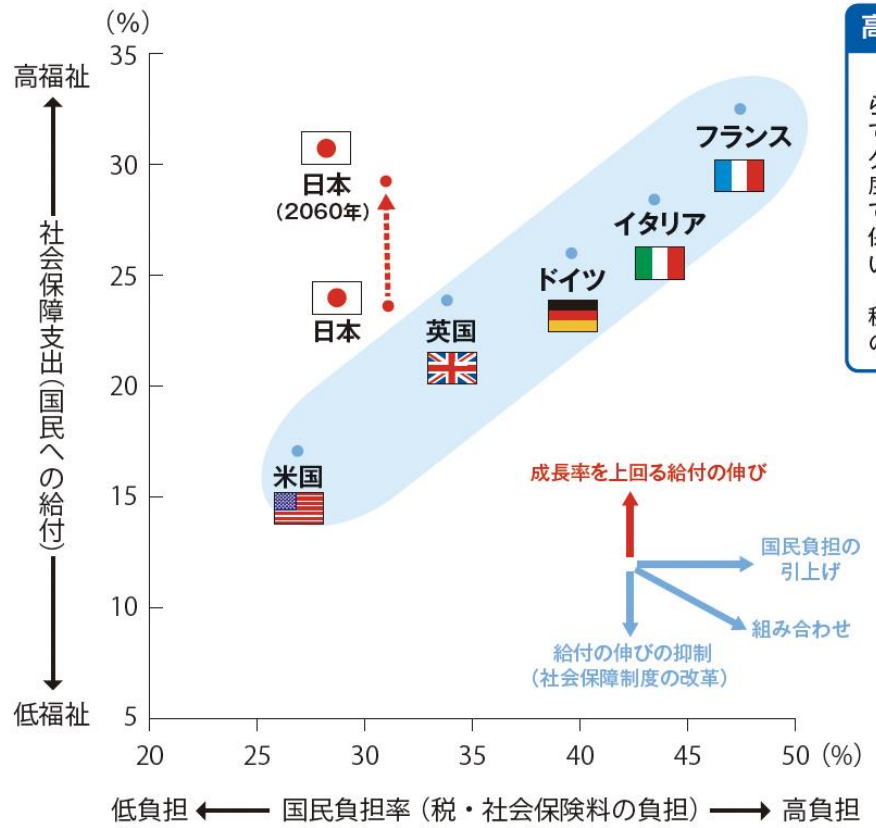
<所得税の特徴>

☑ **勤労世代が主に負担**します。
なお、勤労世帯は、今後減少していくことが見込まれています。

<法人税の特徴>

☑ **税収が景気の動向に比較的左右されやすい**特徴があります。

主な国の給付（社会保障支出）と負担（国民負担率）のバランス
（GDP比）【2015】



高福祉・高負担

働く世代向けから高齢者向けまで、生活上のリスクを社会保障制度が広くカバーしているため、社会保障の給付が多い。
その分、国民の税や社会保険料の負担も大きい。

低福祉・低負担

社会保障の給付が少なく、その分国民の税や社会保険料の負担も小さい。

（出所）OECD “National Accounts”、“Revenue Statistics”、内閣府「国民経済計算」等

持続可能な国民皆保険制度のあり方とその財源について

国民的議論を盛り上げ、決めるのは、政府と都民・国民のみなさまです！

例えば

【消費税】

・税負担は超高齢社会を迎えた今でも、
　他の先進国と比べ低いか同等とされる。
・消費増税は、全世代の負担であり、
　現役世代の負担は比較的少ないのでは。
・食品を非課税にするなどと共に、
　医療介護費用が激増するこれからに対し、
　タブー視せずに検討されてもいいのでは。

例えば

【税収増の可能性として】

一定以上の内部留保を有する企業に対し、
法人税に加算を行う。

↓

賃金アップや設備投資追加を誘導。

↓

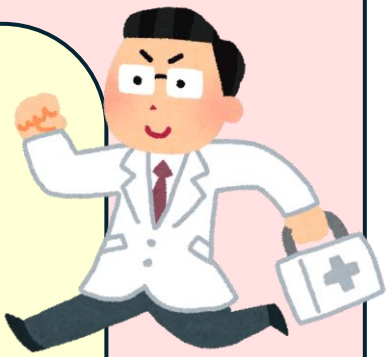
社会保険収入と税収が増加。

医療従事者も痛みを伴う覚悟で

医療者の努力（医療の質を保ちながら無駄な医療費を削減）

- **画一的な検査の繰り返しなど、不要と思われる検査をなくす。**
- **経済的に負担できる方への、湿布薬や保湿剤の処方を減らす。**
- **レセプト審査の適正化。**

  不適切な訪問看護をめぐる高額請求なども話題になっています。



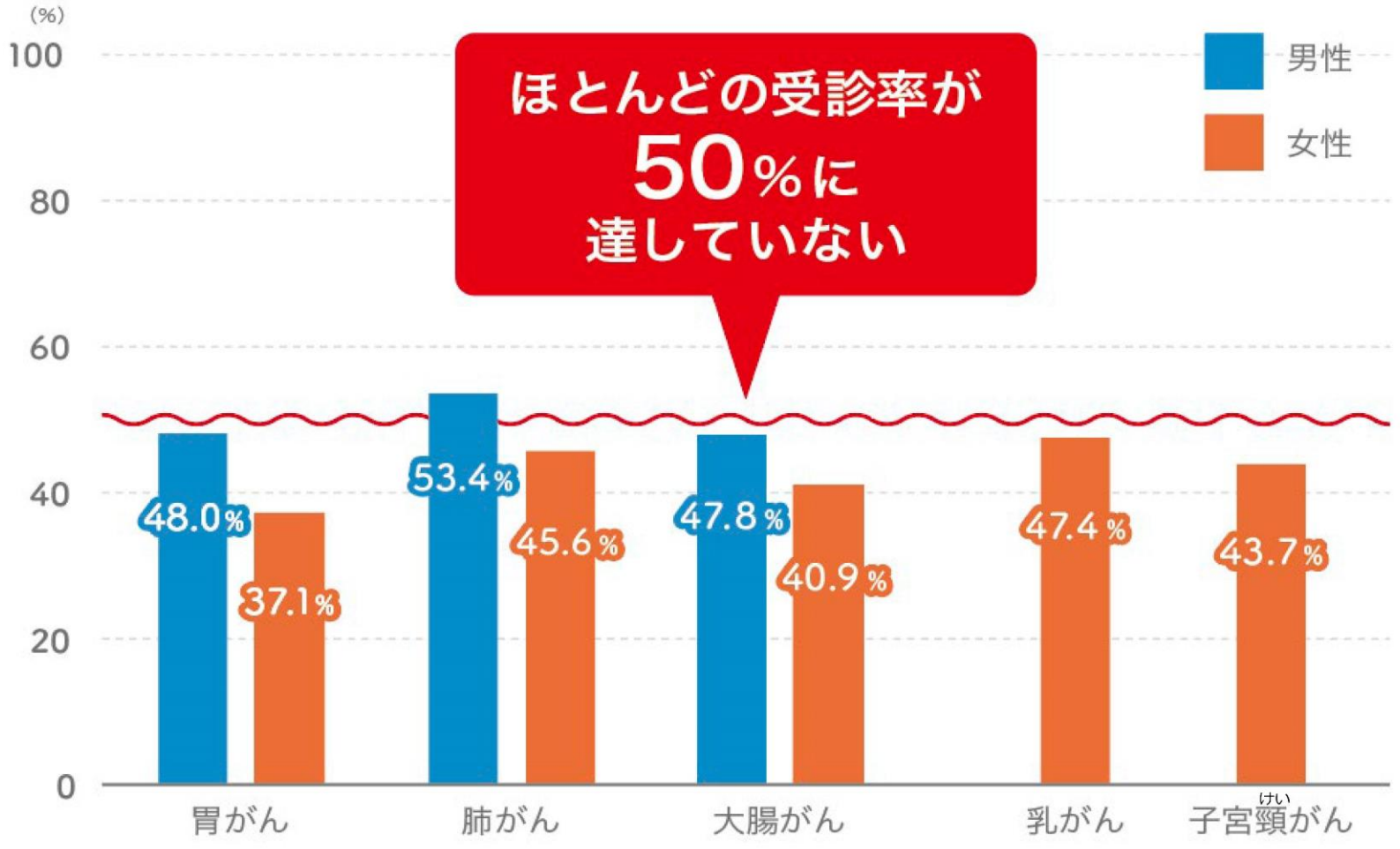
セルフメディケーションって何？

セルフケアの７本柱

私たちの健やかな毎日を支えるセルフケアは、7本の柱であらわせます。
それぞれの柱を知ることで、具体的なセルフケアに役立てることができます。

出典：セルフケアの７本柱 上手なセルフメディケーション　OTC医薬品協会

がん検診の受診率



男女別がん検診受診率（2019年）
（厚生労働省「国民生活基礎調査」を基に国立がん研究センターがん情報サービスが作成（「がん登録・統計」）（より一部改変））

6

出典：文部科学省
「がん教育推進のための教材 補助教材」モジュール5：検診の意味

国民、都民のみなさまへ
～セルフケア、セルフメディケーションを～

「セルフケアの7つの柱に注目」

予防医療の実践

・自分の体や健康に関心を持つ。

・適切な時期に健診・検診を受ける。

→ がんなども初期に見つかり、医療費の削減。

・OTC医薬品の活用

→ヘルスリテラシーの向上や、かかりつけ薬局の体制整備を進めながら、
国民の納得・理解のもと、進めていきましょう。